



同志社ラグビークラブ

2019年9月吉日

## 同志社大学ラグビー部OB・金野 滋 先輩 ラグビー殿堂入りのお知らせ

ラグビーユニオンの国際統括団体であるワールドラグビーは9月13日、2019年の殿堂入りメンバーを発表し、同志社大学ラグビー部OBで日本ラグビーフットボール協会の会長も務められた金野滋 先輩（享年84歳）が選出されました。

金野先輩は現役時代、ロックで活躍され、1947年に法学部を卒業されています。その温厚で責任感の強いお人柄や、外国人を相手にユーモアをまじえて巧みに話される英語力が日本ラグビーフットボール協会に評価され、1952年のオックスフォード大学初来日の際はリエゾンオフィサーとして尽力されました。その後、アジアラグビーフットボール協会の事務局長や専務理事も務められ、1985年には、ラグビーをアジアに広めたことや日英関係の発展に尽くした功績に対し、英国エリザベス女王からOBE（大英帝国勲章）を授与されました。また、1987年の第1回ラグビーワールドカップと91年の第2回大会では日本代表チームの団長をされ、IRB（現 ワールドラグビー）常任理事、日本ラグビー協会会長など数多くの要職を歴任され、日本はもちろん、アジアや世界のラグビーの交流と発展に大きく寄与されました。

ワールドラグビーが定める「ラグビー殿堂」は、キャリアを通じてラグビーに顕著な貢献を果たすとともに、品位、情熱、連帯、規律、尊敬の念といったラグビーを特徴付ける価値基準の形成のために模範となった人物を顕彰するためのものです。これまで金野先輩を含め3名の日本人が殿堂入りを果たされましたが、2012年にアジアから初めて殿堂入りされたのが同志社大学ラグビー部OBの坂田好弘先輩（1965年経済学部卒）ですので、3名の内2名は同志社大学ラグビー部の出身者となりました。それを誇りに思うとともに、私達も精進を続けなければならないと決意を新たにしております。

### ■金野滋（このの しげる）先輩 略歴

- 1922年 7月7日生まれ 東京都出身。
- 1943年 麻布学園・麻布高等学校を卒業。
- 1947年 同志社大学法学部を卒業。
- 1952年 オックスフォード大学初来日時にリエゾンオフィサーを務める。
- 1968年 アジアラグビーフットボール協会設立、事務局長。のち、1985年専務理事、1992年名誉議長。
- 1969年 日本ラグビーフットボール協会理事。
- 1972年 日本ラグビーフットボール協会専務理事。
- 1985年 英国エリザベス女王からラグビーをアジアに広めた功績でOBE(大英帝国勲章)受賞。
- 1987年 第1回ラグビーワールドカップ日本代表チーム団長（1991年 第2回RWC 日本代表チーム団長）。
- 1991年 IRB 常任理事（～2001年）。
- 1994年 日本ラグビーフットボール協会副会長。
- 1995年 第11代日本ラグビーフットボール協会会長（～2000年）。
- 2001年 日本ラグビーフットボール協会名誉会長。
- 2005年 日本ラグビーフットボール協会名誉相談役。
- 2007年4月1日逝去（享年84歳）。

以上